

【教育目標】 総合目標 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



チャレンジ☆アイ

- ◎自主性、創造性のある生徒（知育）
- ◎情操豊かな生徒（徳育）
- ◎健康でたくましい生徒（体育）

【全国学力・学習状況調査】 国語・数学・理科と生徒質問紙を実施

～1・2年生や保護者の皆様も国語の問題にチャレンジしてみてください！～

4月19日（火）に、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。中学校では、国語・数学・理科の3教科の学力調査と、学習や生活の様子について尋ねる「生徒質問紙」が実施され、3年生がチャレンジしました。今回は、国語の問題を一問紹介しますので、1・2年生や保護者の皆様もチャレンジしてみてください。

2 小林さんは、国語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って小林さんが書いた【意見文の下書き】と友達を書いた【コメントの一部】、小林さんがコメントを受けて集めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なが増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りの^①ぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入っていない。」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。

しかし、祖父父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちが意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

【コメントの一部】

上野

他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないのでしょうか。

中村

私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。

➡「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0^{ソサエティ}*の実現」

※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

一 小林さんは、「意見文の下書き」の〰〰〰線部の文末を「自動化したそうだ」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 祖父母が否定している内容であることを明確にしようとした。
- 2 祖父母の話から推測した内容であることを明確にしようとした。
- 3 祖父母が希望している内容であることを明確にしようとした。
- 4 祖父母から聞いた内容であることを明確にしようとした。

二 ―線部①と―線部②のひらがなを漢字に直し、楷書^{かぎしよ}でていねいに書きなさい。

三 小林さんは、上野さんと中村さんからの【コメントの一部】を踏まえて、で開まれた「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。」のすぐあとに、スマート農業の効果を書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【農林水産省のウェブページにある資料の一部】から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かぎカッコ「」でくくること。

条件2 「例えば、」に続けて書くこと。

【正答（例）】

② ー 4

- 二 ① 除（く）
② 喜（んで）

三 （例）（例えば、）農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。

【解説】

- 設問一は、「助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うことができるかどうかをみる」問題です。「祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化したそうだ。」の助動詞「そうだ」が伝聞の意味を表すことを理解していれば「4」を選ぶことができます。
- 設問二は、「文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる」問題です。「除」は小学6年生、「喜」は小学5年生で習う漢字です。
- 設問三は、示された条件に沿って「自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる」問題です。その際、「引用」という用語の意味を理解しているも重要になります。問題文では、スマート農業における「作業を自動化すること以外の効果」を書き加えるとあるので、ウェブページの「スマート農業の効果」に着目し、「①作業の自動化」以外の「②情報共有の簡易化」と「③データの活用」を書き加えれば良いことが分かります。